

やなぎの子のみなさんへ ～「やりたいことリスト」の薦め～

元気で過ごしてくれていますか。連休明けには、とっていたお休みが再度延びてしまいました。毎日いろいろなことに「がまん」を重ねていることと思います。少しずつではありますが、ウイルスの感染が収まりつつあるニュースも聞かれるようになってきました。五月になりお日様の光も明るく感じられる季節、これまでの休業延長とは少し違い、前向きな気持ちになれる気がします。

人は、不安な気持ちの時間が続くと、誰かをせめてしまうことがあります。街中でも「もっと離れて（レジに）並んで！」とか、「(買い物のお釣りを) そこに置いてよ。手が触れてしまうでしょ！」といった、心ない言葉を耳にしています。このような中でもお仕事を休めない商店の方、病院や医療関係の方、生活を守ってくださる警察や消防の方、バスや電車など交通機関の方、宅配便など運送関係の方、……大変な思いをなさっている方が大勢いらっしゃることに、思いを致したいです。

とはいえ、小学生のみなさんは、まだまだ人生の修行中。こんなにつらい時間が続くこともはじめてのことでしょう。御家族など身近な方々に、つらい気持ちをぶつけてしまうことも仕方がないことなのかもしれません。3月からの二カ月間でも、何度かあったのではないのでしょうか。

言ってしまったこと、ひどい言葉を人に投げつけてしまったことは、取り消せません。だからこそ、必要なことは、そのこと——誰かを つらい気持ちにさせたしまった言葉を発したこと——を、うやむやにせず、覚えておくこと、です。

皆さんだって、必死に、一生懸命に日々を過ごしていますが、それは、相手も一緒。今の日々が過ぎて、皆さんの気持ちが膨らみ温かくなった時、お話しできるタイミングに、「あの時はごめんね」と言える時まで、申し訳なかったなあ、悪いこと言ってしまったなあ、という気持ちをもっておくことが、大切なことなのだと思います。

「もう少し」の気持ちを大切にするためにも、今、みなさんに取り組んでもらいたいことを、あげておきます。

1 お休みが終わったら「やりたいことリスト」の作成

いろいろとやりたいことをまんしている時期。それを手元のノートやメモ帳に書き留めておきましょう。おそらく、一つや二つではなく、何十個も書けると思います。休業終了後、そのリストを一つひとつ取り組んで消していく……その作業だけでも、わくわくしてきませんか。ちなみに、先生もいくつか書き留めています。例えば「東京ドームで野球を観戦する」「〇〇に星の写真を撮りにいく」「潮干狩りをする」……。順不同ですが、30項目ほど書き留められています。まだまだ増やしたいと思います。

(前に述べた、「〇〇さんにごめんなさいを言う」ということも書けますね。)

2 「本」をあと3冊読みましょう

3月にもお願いしましたが、こんなときこそ、読書をしましょう。学校で忙しい時には時間が取れなかった人も、ぜひこれまで手にしたことのなかった分野の本を、手に取ってみてください。物語や小説だけでなく、科学や歴史などの説明文の中には、一ページ目からではなく、興味のあるページからでも読めるものがあります。普段から読書の習慣がある人は、この機会に、分量のある「大作(たいさく)」にチャレンジしてみるものよいでしょう。

4月の桜が5月のツツジになり、学校が始まる予定の6月はアジサイの季節。アジサイは小さな花弁が集まって一つの花の形になる花。皆さんが集う季節にはピッタリかも知れませんね。

今度こそ。この希望をもって、先生方も皆さんと学校生活を過ごせる日を、信じて待っています。